

ネット時代の

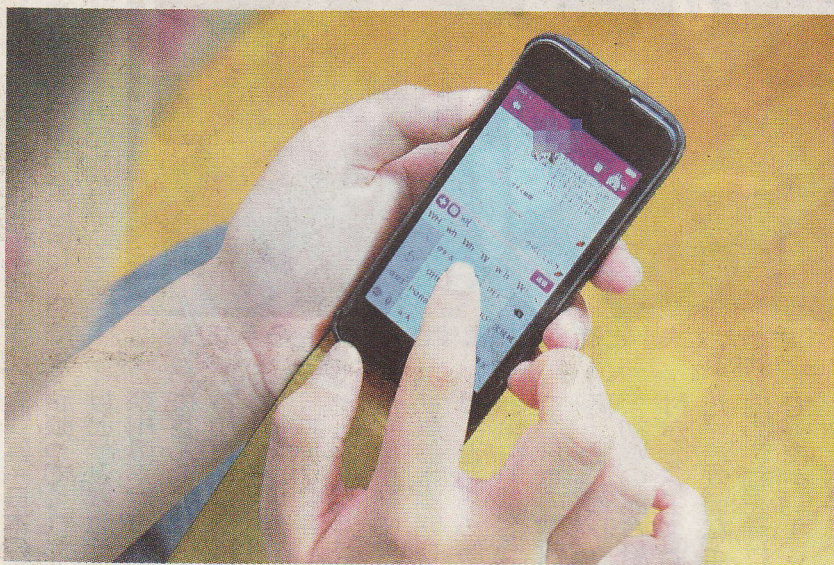
高い所持率

「警戒心の薄い子ども 間にさらに深刻化してき
 たちが、音楽プレーヤーた。

やゲーム機で簡単に有害情報にアクセスしている」。鳥取市内の中学校長は、過去に経験のない環境も向上。スマホや携帯音楽プレーヤーや通信型ゲーム機が普及し、家庭内の無線LANを保持していない小中学を抱く。

教育現場では以前から、子どもたちが携帯電話やスマートフォン（スマホ）で有害情報にアク

①進む低年齢化



小中学生の間でも所持が一般化した通信機器。使い方によってはトラブルに巻き込まれる可能性もある（写真と本文は関係ありません）

生でも容易にネット接続で来た」。中学生の間で顕在化してきたのが、青少年が自殺や麻薬、無料通信アプリLINE（ライン）を介してのトラブルなど有害情報に接する可能性も排除できない。

氷山の一角

県ケータイ・インター

氷山の一角

内閣府が昨年度実施した調査では、中学生の48・6％が携帯音楽プレーヤー、小学生の74・5％がゲーム機を所有。鳥取市校長会長の能藤善彦城北小学校長は「県内も全国と似た状況。ネット接続できる高度な機器を大人が買い与えており、もはや都会だけの問題ではない」と話す。

今度さんは「ネット上 実際には犯罪に巻き込まれるケースも増えている。県警によると、県内でSNSなどを介し18歳未満が性犯罪被害に遭い、犯人検挙に至った件数は12年の4件から13年は11件に増加。県警少年課は「氷山の一角。被害はまだあるはず」との見方を示す。

県警統括少年警察補導

トラブル発展

「グループで仲間外れ人もいる」と警告。「勉強でネットをよりどころにされた」「知り合った強中も食事中も入浴中もしている子どもたちに、見知らぬ男性が家の前まわりのグループを継続し、グループ犯罪者は優しい言葉で近

ゲーム機で簡単接続
悪意を持った人物接触も

「悪意を持った犯罪者と
つながらないように家族
や学校の配慮が必要」と
訴える。